



### 子どもの心に栄養を… ～作者による読み聞かせ活動～

富士河口湖町在住の作家、小林広美さんが新作の童話集を刊行したことを記念して町内の小・中学校で読み聞かせ活動をしてくださっています。広美さんは元教員で町内の小学校でも勤務された経験をお持ちです。ご自身が読み聞かせを続けてきた経験から、学校の読書タイムの時間内に読み切れることを重視して執筆されました。新作は10編のお話で構成されています。

1月17日(水)には、大石小学校で4～6年生を対象に、表題作『カエルのつけもの石』が披露されました。お話の中では同じ言葉が繰り返し登場します。お話が進むにつれて子どもたちは、ある言葉がたびたび繰り返されることに気付きました。そして、広美さんが読むのに合わせて「ますます」とか「どんどん」といった言葉を口ずさみ始めます。子どもたちは、その言葉が出てくるのを待つようになり、読み手と一緒に声を出すことで、物語の世界を楽しむようになりました。



小林広美さん



大石小学校 読み聞かせの様子



小立小学校 読み聞かせの様子

1月19日(金)には、小立小学校で5年生を対象に、同作が披露されました。子どもたちは広美さんの読み聞かせを夢中で楽しみながら聞いている様子でした。読み聞かせを終えて子どもたちからは、「『次はどうなるんだろう?』と想像しながら聞きました。」「ご先祖様が出てきた所が印象に残っています。」「本の中に入ったような気持ちになりました。また読んでいただきたいです。」という感想が挙がっていました。

少しでも読書に興味を持ち、すすんで本に親しむようになってほしいと、広美さんは町内小・中学校の図書館へ新刊を寄贈してくださいました。

各小・中学校ではそれぞれ読書タイムを設定したり、教職員やボランティアによる読み聞かせの場を設けたりと、司書の先生を中心に子どもたちが読書に親しむよう工夫をしています。本は心の栄養です。様々なきっかけを通して、子どもたちの読書習慣が養われることを願っています。

### 野球しようぜ！ ～大谷翔平選手からの贈り物～

冬休み明け、町内の各小学校にも素敵なプレゼントが届きました。メジャーリーガー大谷翔平選手からのグローブです。

1月16日(火)の朝、船津小学校では全校集会でお披露目されました。全校児童の見守る中壇上に上がった小河原校長先生が学校に荷物が届いたことを伝え、その場で箱を開け始めま



した。子どもたちの視線が釘付けになる中、中身が見えた途端、会場のざわめきは一転大きな歓声へと変わりました。中に入っていたのは3つのグローブと手紙でした。小河原校長先生が手紙を読み始めると、子どもたちは一斉に口を閉じ静かに聞き入りました。

### 大谷翔平選手からのメッセージ（一部省略）

メジャーリーガー、大谷翔平です。この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルになることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平



3つのグローブには、全てに大谷選手のサインが入っていました。新旧の児童会長と、船津少年野球のキャプテンの3人がステージに上がり、はじめにグローブを手にはめました。それから、ステージを降りてキャッチボールをしました。船津小学校では、6年生から順にクラスに回して使ってもらうことにしました。

記録に残る活躍をした選手からの記憶に残る贈り物を、きっと子どもたちは忘れることはないでしょう。そして憧れや親しみを持って大切に使うことでしょう。もしかしたら、ネクスト大谷がこの町のどこかの小学校から誕生するかもしれませんね。グローブとともに大きな夢を届けてくれた大谷選手に感謝です。



初☆キャッチボール

## 勝山小 親子でコサージュ作り体験

昨年12月21日(木)、勝山小学校6年生は親子でコサージュ作りを体験しました。富士東部農務事務所の企画で、「花科学合同会社」の皆さんが講師を務めてくれました。

コサージュは親子それぞれが一つずつ作りました。細かい作業が続きましたが、親が子を、子が親をそれぞれ手伝いながら、思いを込めたコサージュを作ることができました。親子で作業を楽しむ気持ちが、どのテーブルからも伝わってきました。

作ったコサージュは、3月19日(火)の卒業式で身に付けるとのことです。コサージュを身に付けて小学校を巣立つ時が日に日に迫っています。残りの小学校生活を有意義に過ごし、親子で作ったコサージュを身に付けて、立派な姿で自分の門出をお祝いしてほしいと思います。



作業の説明



親子で楽しくコサージュ作り

